

令和 4（2022）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	クロガシラガレイ	対象水域	根室海峡海域
担当機関名	北海道立総合研究機構 釧路水産試験場	協力機関名	

1. 調査の概要

根室市（太平洋沿岸を含む）～羅臼町を根室海峡海域として、漁獲統計資料から漁獲動向のほか、主要な漁期・漁場などを把握した。また、釧路水試がこれまで実施した調査資料から基礎的な生物情報を収集した。これらの情報を用いて、現在の資源水準および資源動向を判断した。

なお、本海域では、クロガシラガレイ *Pseudopleuronectes schrenki* とともに、外部形態がよく似た同属種であるクロガレイ *P. obscurus* が漁獲されている（村上 2003、松田 2015）。漁業現場では2種が区別されず、市場名「くろがれい」または「くろがしら」として出荷されており、市場データに基づく漁獲統計資料である北海道漁業生産高報告では、まとめて「くろがしらがれい」として集計されている。漁獲物における2種の混合割合は年、漁期、漁場等によって変化すると考えられるため、大規模な種組成モニタリングを実施しなければ、種別の漁獲情報を得ることは困難である。本報告書ではクロガシラガレイと呼称するが、クロガレイを含む可能性があるデータを用いていることに注意が必要である。

2. 漁業の概要

根室海峡海域におけるクロガシラガレイの漁獲量は1985年以降、740～3,633トンの範囲で推移しており、1994～2016年の漁獲量は1,375トン未満の比較的低い水準であったが、2017年以降増加し、2020年には1986年以降で最高の3,348トンとなった（表1、図1）。2021年の漁獲量は2,593トンとなり、前年を下回った。

本海域における漁獲量は北海道全体の43～71%（2011～2020年）を占め、主に沿岸域の刺し網と小型定置網（小定置網、底建網）で漁獲されている。主要な漁場は根室市（根室半島周辺）から別海町（野付半島周辺）にかけての沿岸域である。1985～2000年の当該海域の市町別漁獲量では根室市がもっとも多かったが、2021年は1985年以降で初めて別海町が根室市を上回った（表1、図1）。主要な漁期は産卵期である3～6月であるが、盛漁期は羅臼町では10～12月、別海町（野付半島周辺）では3～4月、根室市（根室半島周辺）では4～6月となっており、地区によって差が見られる（図2）。

3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：我が国では北海道と青森県の水深100mより浅い沿岸域に分布する。北海道の石狩湾以北の日本海からオホーツク海沿岸にかけて分布する群れは単一系列とされる（村上 2003）が、根室海峡から太平洋沿岸に分布する群れは系群構造が不明である。根室海峡海域では春季に産卵のため接岸するが、産卵期以外における分

布、回遊は不明である。

- (2) 年齢・成長：2005～2008年5月に根室市に水揚げされた漁獲物の測定データ（鳥澤2006、丸山・坂口2008、坂口ほか2009、坂口ほか未発表）から、年齢別、雌雄別の平均全長および平均体重を算出した（表2）。年齢起算日は6月1日として、5月時点の年齢は加算前の年齢で表記した。同じ年齢では雌が雄よりも大きい（鳥澤2006、坂口ほか2009）。
- (3) 成熟・産卵：5月に根室市に水揚げされた漁獲物では、2歳から抱卵雌が見られる（坂口ほか2009）。ただし、5月は産卵のため来遊する魚群が主な漁獲対象となっているため、年齢別成熟割合の推定は難しい。

4. 資源状態

2005年5月の根室市沿岸漁獲物調査では、標本294個体のうち、クロガシラガレイが290個体であり、クロガレイは4個体のみであったことが報告されている（鳥澤2006）。このことから根室市沿岸の漁獲物はクロガシラガレイが大半を占めると仮定して、根室市の漁獲量により資源水準と資源動向を判断した（図3）。水準の判断には1985～2020年の漁獲量を用い、平均値より40%以上多い場合を高位水準、40%以上少ない場合を低位水準とした（高中位境界=1,216トン、中低位境界=521トン）。

2021年の根室市漁獲量は1,082トンで平均値869トンの1.25倍に相当することから、資源水準は中位と判断した。また、直近5年間（2017～2021年）の漁獲量の推移から、資源動向は増加と判断した。

5. 資源回復などに関するコメント

本資源は隣接する北方四島水域にも連続的に分布すると考えられるが、漁獲対象は我が国の漁船が操業可能な水域に来遊した一部に限られる。北方四島水域における漁業情報は得られていない。

6. 引用文献

- 丸山秀佳・坂口健司 (2008) 根室半島周辺クロガシラガレイ漁業実態把握調査. 平成18年度釧路水産試験場事業報告書, 197-201.
- 松田泰平 (2015) クロガシラガレイとクロガレイ 一種苗生産研究から見た2種の類似性 一. 試験研究は今 No.791, 2pp.
- 村上 修 (2003) クロガレイ、クロガシラガレイ. 漁業生物図鑑新北のさかなたち. 監修 水島敏博・鳥澤雅, 札幌, 北海道新聞社, 262-267.
- 坂口健司・森 泰雄・丸山秀佳 (2009) 根室半島周辺クロガシラガレイ漁業実態把握調査. 平成19年度釧路水産試験場事業報告書, 205-212.
- 鳥澤 雅 (2006) 根室半島周辺クロガシラガレイ漁業実態把握調査. 平成17年度釧路水産試験場事業報告書, 197-205.

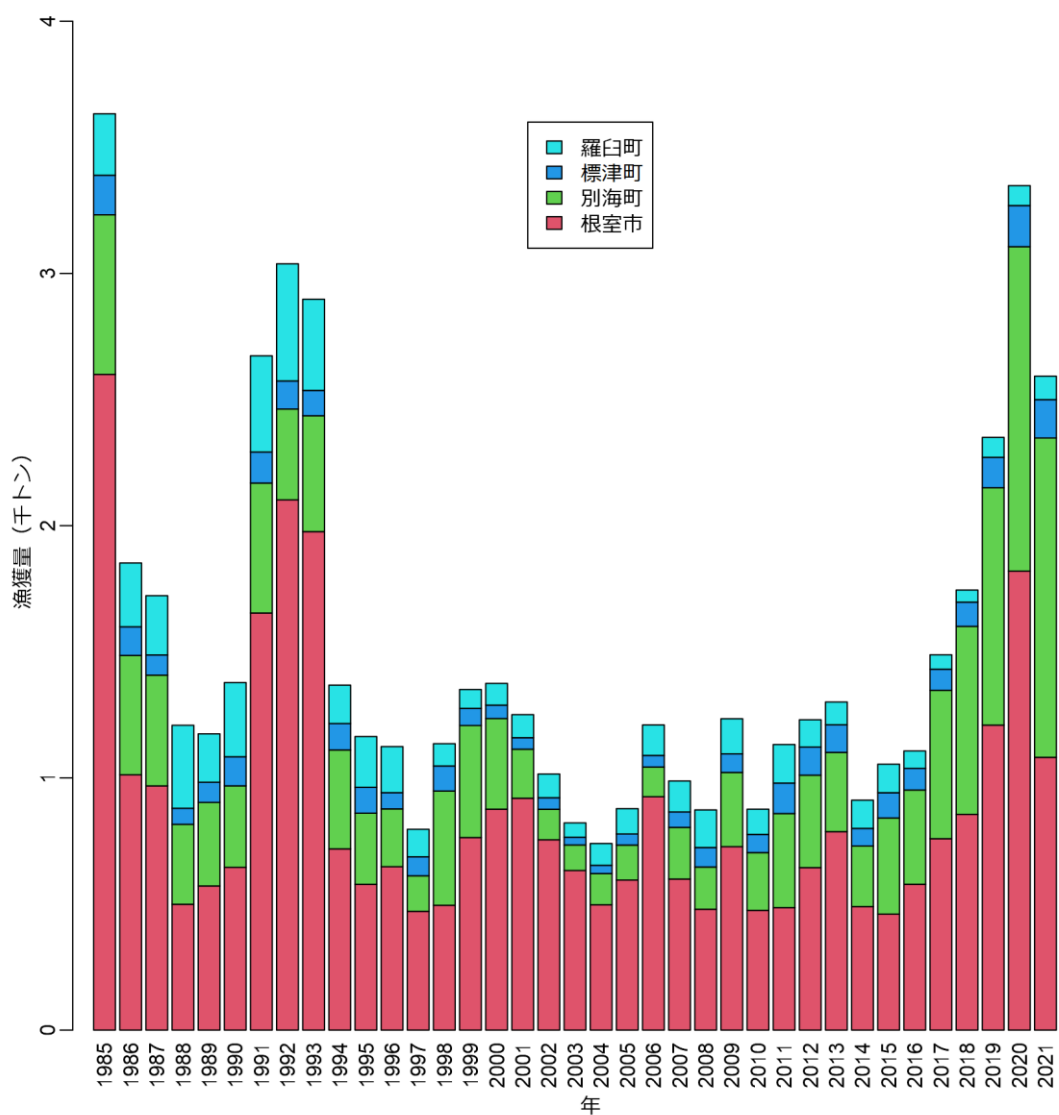


図1. 根室海峡海域におけるクロガシラガレイの漁獲量の推移

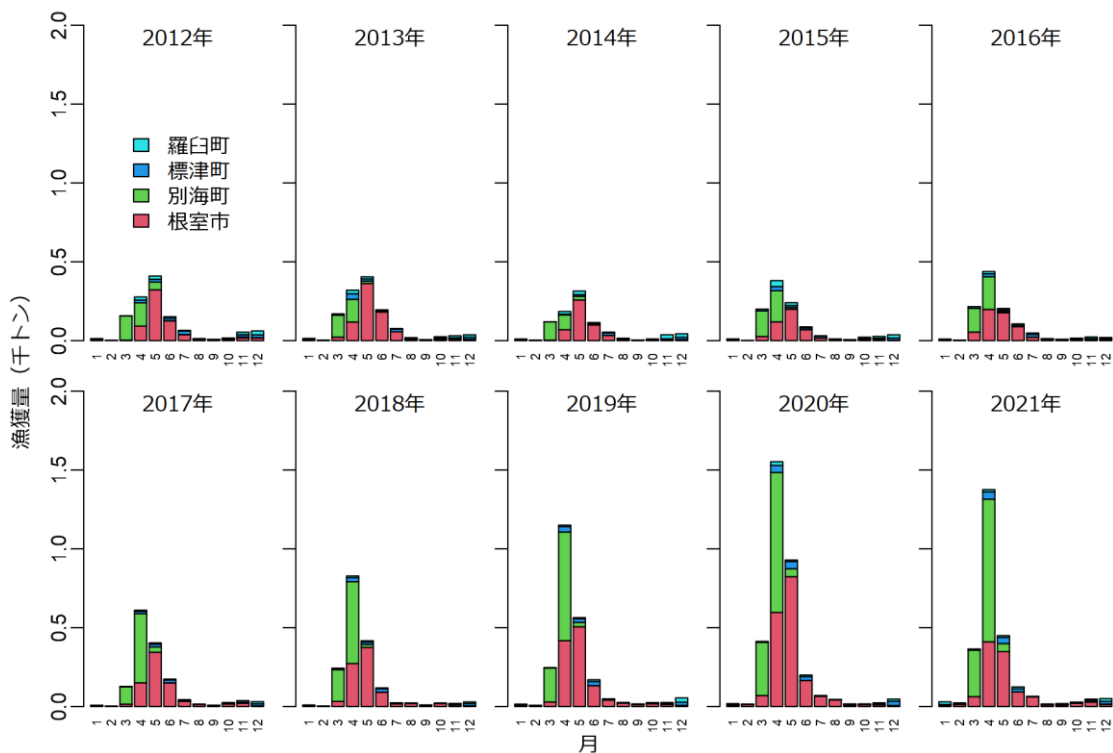


図2. 根室海峡海域におけるクロガシラガレイの月別漁獲量

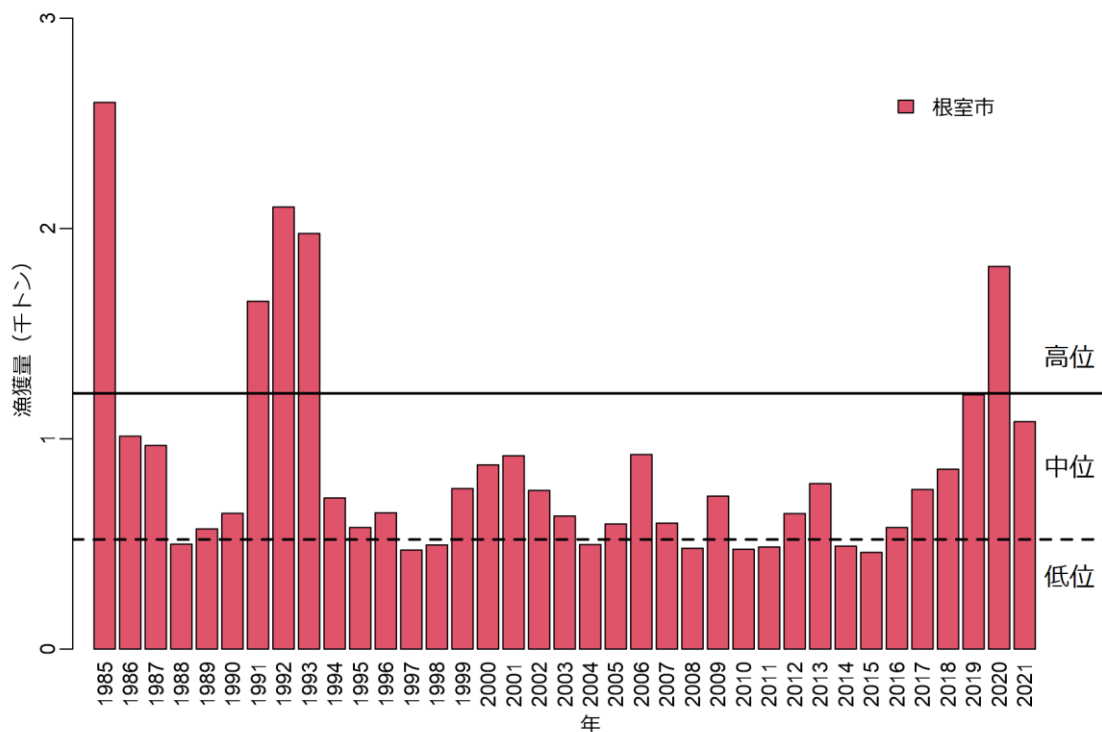


図3. 根室海峡海域におけるクロガシラガレイの資源水準
資源水準の判定には根室市の漁獲量を用いた。

表 1. 根室海峡海域におけるクロガシラガレイの漁獲量*

年	根室市	別海町	標津町	羅臼町	単位:トン	
					根室海峡 海域計	その他 北海道
1985	2,600	633	157	244	3,633	942
1986	1,012	473	114	253	1,852	911
1987	968	439	80	235	1,722	791
1988	499	317	64	329	1,209	827
1989	572	331	80	192	1,175	878
1990	645	323	115	294	1,378	1,211
1991	1,654	515	123	382	2,674	1,325
1992	2,102	360	111	464	3,038	2,085
1993	1,976	459	100	362	2,898	1,513
1994	719	392	105	152	1,368	1,887
1995	578	282	102	201	1,164	1,966
1996	648	229	64	183	1,124	1,676
1997	471	141	75	109	796	1,741
1998	495	453	99	88	1,136	2,049
1999	763	444	68	75	1,350	1,676
2000	876	359	53	86	1,375	1,553
2001	919	194	46	91	1,251	1,517
2002	755	121	46	94	1,015	1,519
2003	633	101	31	57	822	2,068
2004	497	124	33	86	740	1,955
2005	595	139	44	101	878	1,569
2006	925	118	46	121	1,210	1,571
2007	599	205	61	123	988	1,596
2008	479	167	77	149	873	1,945
2009	727	294	74	139	1,235	1,822
2010	475	229	72	100	876	1,612
2011	486	373	121	153	1,132	1,520
2012	644	366	111	108	1,230	1,588
2013	787	314	110	90	1,301	1,386
2014	490	240	70	112	912	1,227
2015	460	381	100	113	1,054	995
2016	578	374	86	69	1,107	1,076
2017	759	588	84	57	1,488	1,610
2018	855	746	96	48	1,745	1,344
2019	1,209	941	120	79	2,350	1,464
2020	1,820	1,286	163	79	3,348	1,344
2021	1,082	1,266	152	93	2,593	1,241

*北海道漁業生産高報告（2021 年は水試集計速報値）、根室振興局管内（根室市～羅臼町）を集計。

表 2. 根室市に水揚げされた漁獲物における年齢別、雌雄別の平均全長と平均体重
2005～2008 年 5 月の漁獲物測定データから算出、年齢起算日 6 月 1 日として加算前の
年齢で表記。

年齢		2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳以上
平均全長 (mm)	雄	269	276	303	318	346
	雌	281	298	340	365	395
平均体重 (g)	雄	281	320	419	467	550
	雌	344	428	662	810	932